

新年号

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第64号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
 Email: : zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>

2008年を迎えて～信なくば立たず～

神奈川県異業種グループ連絡会議・議長（首都圏ビジネスマンコミュニティグループ 会長）南出健一

2008年、皆様には穏やかな元旦をお迎えになられたことと存じます。

しかし、日本経済が再生したかのように見受けられた昨年、政治・経済界の中でおびただしい「偽」が氾濫し、多くの人々を何が「真実」なのか見当すらつかない「不信のつぼ」に追い落としてしまいました。悲しいかな私たちの祖先が綿々として築き上げてきた「信なくば立たず」が歴史的特性であったはずの倫理観をたちまち瓦解させてしまいました。一体どうしたのでしょうか。

戦国時代、群雄割拠する大名や武将たちは神仏を前にして「民を守る」ことを誓い合いました。もともと「民の力」なくして領国経営は成立しない、厳しい自然条件があったとはいえ、冷酷極まりないといわれた織田信長ですら天下布武を掲げても、おのれの行動に「タガ」を嵌めながら、乱世を戦い抜いてきたといえます。だからこそ当時の支配者の自らを律した掟ともいべき、「喧嘩両成敗」をはじめ「武家諸法度」は江戸から明治の世まで生き続けられたのです。400年を経たいま、お互いが育み慈しみ継承して来たはずの「信」は見ると影もないほど無残な姿で捨て去られたように見えるのは、私一人だけでしょうか。

最近「この事態は見過ごし出来ない」と気付いた人々の間で、しきりに安寧だった江戸時代を、再評価する動きが顕著になっています。たとえば越川礼子著「江戸しぐさ」が、ベストセラーになったのも歯止めが効かない世の中への警鐘の一つです。「清貧」が論じられたり、社会貢献が強く求められはじめたのも「金が全てを支配」する世の中が「強きを助け、弱きを挫く」結果への自省ともいえます。

私はけっして「偏狭な復古主義」を唱えようというわけではありません。古今東西を問わず、地球が存在する限り何人たりといえども、「信なくば…」生きていくカナメを失ってしまうのを、恐れているからです。「生き馬の目を抜く」淘汰の時代であるからこそ、私たち企業家は社会と係わり合いを深めながら、「おかしいこと」に正面から対峙していく勇気と行動が求められてきたのではと思うのです。

2008年、かながわ異グ連は再び「企業とは、経営者とは」を問い続ける事業を展開しようと心しています。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年に当たって

神奈川県異業種グループ連絡会議・副議長（横須賀交流プラザ理事長）雑賀政徳

2008年をお健やかに迎えになり、心よりお慶び申し上げます。

世相では反省、反省とお詫びばかりが目につく中で、新年がスタートしました。昨今、新興企業が都市の一部に集中しヒルズ族と揶揄され、六本木ヒルズを代表する高層ビル群に集結し、リストラ転売やインサイダー取引等により利益を捻出す経営者が、錬金術の如く資金を膨らませ、新規起業家までももてはやされてきました。

135年前、日本資本主義の父《渋沢栄一》は日本最初の銀行・株式会社の設立を生涯500社以上成し遂げ、これらが現在の大企業のルーツとなっています。彼は日本の近代的企業経営を確立した最大の功労者といえると思います。又彼は『仁義道徳』正しい道理の富でなければその富は完全に永続する事が出来ない、とも言い伝えています。今まさに温故知新の精神で、偉大な先人の心を学ぶ事が必要なのではと思います。

日本の近未来を予想しますと、リアルからバーチャルへ移行すると思われれます。次世代のNGN（ネクストジェネレーションネットワーク）の帯域に広がるスピードは、半導体の進化よりも速いと推測されます。又医療でもDNA個人向け医薬品・再生医療へ、半導体の平面加工から階層加工へテクノロジーが進化し、環境循環という観点からは家庭で充電可能なモーターカーや、変形自在可能なフレキシブルハウスが発想の転換で生まれてくると思われれます。近未来はエレクトロニクス・ITを始め、家や自動車・街までも進化の時代に入ります。そして日本は引き続き世界をリードし市場は大きく変化します。このチャンスを新創異業種交流として、ビジネス交流・専門分野交流・文化芸術交流を三位一体で融合し前進して行きましょう。

本年もよろしくお願い申し上げます。

地域活性化プロジェクトの新たな展開をおもう

専務理事 芝 忠

元旦恒例の箱根駅伝では、今年は3校が途中棄権してしまった。多くの選手層から選抜されても、アクシデントは避けられない。我々も心して行動しなければならないと思いました。

さて平成もいよいよ20年を迎えた。明治が45年、大正が15年、昭和が64年続きましたが、今の天皇の年齢を考えると、まだ10年は続くかも知れない。異グ連は1984年に設立されて以来24年を経過、本年は実に25年目、四半世紀を迎えたこととなる。

年末に、「野毛地区振興事業協同組合」から、「野毛劇場ブランド事業推進委員会」の委員就任の依頼文が送られてきた。国の重点事業である「地域資源活性化法」の指定第1号に係わる仕事である。過去4年間、筆者の憩いの場でもある野毛地区に、異グ連が活性化プロジェクトを作って、本格的に「異業種交流」で係わってきたことに対する地元からの評価として、ありがたく受けることとした。神奈川新聞の「処方箋」に、「野毛地区の振興方策」を提案したのが2005年5月のことだ。同じ欄に航空・宇宙のことを書いたのが同年2月だから、航空・宇宙も、野毛活性化も、ほぼ同じ時期にスタートしている。航空・宇宙はお蔭様で、プロジェクトや関係者の努力があって、今や「まんてんプロジェクト」は、全国的に有名となり、NHKのアナも紹介している。野毛プロジェクトは地味ではあるが、中小企業センタービルが目と鼻の先の地域である。至近距離で世話になっている我々の、基本スタンスを示すものとして、重要な試みである。

地域との係わりでは、新たに川崎地区で葬儀事業の市民トラブルを、解消するためのNPO法人が設立され、川崎市消費生活センターとの協定を結ぶこととなっている。この法人の理事長に筆者が依頼されている。また3年間実施しているアルメニア研修事業もJICA本部から高く評価されているという。

異グ連の交流支援や相談事業は、どちらかと言えば個別企業支援が主流であった。グループ内の企業や、企業からの依頼で設立されたプロジェクトも、中心的な企業や経営者を支援してきた。地域全般に係わるプロジェクトや、事業支援が生み出されたのは、近年の新しい方向性である。影響力も比較にならない程大きい効果がある。異グ連の四半世紀の実績を継続させ、スタッフの健康維持にも気を配りながら、さらに異業種交流の発展と、活用法の広がりを目指して頑張りたい。

神奈川における中小企業振興条例・討論集会(兼:第32回中小企業政策研究会)

日時:H20年02月22日(金)13:15~17:00

場所:建設プラザかながわ 2Fホール

横浜市神奈川区神奈川 2-19-3(JR東神奈川駅、または京急仲木戸駅)

内容:全国的に気運が盛り上がりつつある中で神奈川県も条例制定に動き始めました。振興条例は如何に有るべきかを討論いたします。

第一部全体会議 13:15~14:30

- ①**条例化作業の経過について** 神奈川県商工労働部産業活性課
- ②**会員アンケートから** 神奈川県中小企業家同友会
- ③**条例化に対する要望について** 神奈川県商工団体連合会、他

第二部 グループ別討論会 14:40~16:00

第三部 全体会議 16:10~17:00

参加費:500円(資料代) 資料準備のため2月20日までにお申込ください。

問合せと申込:事務局 神奈川異グ連 芝、島津俊、島津龍 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194

事前会議も参加ください

日時:01月29日(火)13:30~15:00

場所:神奈川中小企業センター11F

内容:(皆様の意見を出してください)

- ①**条例化をめぐる情勢**
- ②**2月22日討論会の運営について**
- ③**今後の条例化推進運動について**
- ④**その他**

問合せは、異グ連 芝まで

産学官交流サロンのコーナー

第24回サロンよこはま開催案内

日時:H20年01月24日(木)18:00~20:30

会場:ヘリオス関内ビル 横浜市中区元浜町 3-21-2

話題:チャレンジ新連携!

(異業種連携で新事業開拓を)

中小企業基盤整備機構サブマネージャー・濱田真実氏

参加費:1000円(ビール、おつまみ付)

申込:杉本、織方 tel 045-633-5142 ,fax 045-633-5194

第12回西湘サロンの開催案内

日時:2008年1月21日(月)18:00~20:30

場所:あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F

話題:仕事のロマン 21世紀“アジア共生時代”に

「ものづくりで向き合う中国」

旭東ダイカスト(株)代表取締役社長 山森一男氏

参加費:1000円(ビール、おつまみ付)

申込:島津俊、吉池、芝 t 045-633-5142 f 045-633-5194

神奈川新産学交流サロン(合同)**神奈川県中小企業支援月間協賛****日時:**H20年02月19日(火)15:30~17:30 **交流懇親会は18:00~20:00****会場:**野毛地区センター 3階集会室 横浜市中区野毛町3-160-4 TEL045-241-4535**参加費:**1000円(資料代) 交流会は別会場で別会費です。

内容:①まちなかキャンパス(第一回野毛の商いと文化)を終えて今後の生かし方 横浜商大 佐々 徹教授
 ②国に認定された「地域産業資源活用事業として野毛地区」のこれから 情報芸術研究所(株) 河内楊也社長
 ③アトラクション「野毛山追分」 横浜コラボ倶楽部会長 中島鷗舟氏

問合せ、申込:神奈川異グ連 芝、杉本 TEL045-651-8883、FAX045-633-5194**おなじみ尾上町サロン****日時:**毎月第一・三金曜日
(2月01日、15日、3月07日、21日)**会場:**神奈川中小企業センター 5階
異グ連事務所**連絡問合せ:**神奈川異グ連事務局
芝、島津龍男、八幡、児玉、鈴木
045-633-5142**第24回三浦半島経済人サロン開催案内****日時:**H20年01月28日(月)18:00~20:30**会場:**神奈川新聞社横須賀支社 5階会議室(横須賀市小川町21-9)**話題:**「葉山朝市18年から地域の活性化を語る」

葉山マーケット朝市実行委員長 柳 新一郎氏

中小企業診断士 大場 保男氏

参加費:1000円(ビール、おつまみ付)**連絡:**異グ連 八幡敬和 045-633-5142, 防衛大名誉教授 鶴野省三**かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況****まんてんプロジェクト活動状況**

千田BC

- 大河出版社が発行する月刊誌「ツールエンジニア」2008年1月号は、航空宇宙産業を支える加工技術を集めたが、その中で、まんてんプロジェクトの活動が大きく取り上げられた。
- 2007年12月5日、神奈川中小企業センターにて今年度第2回目のまんてん全体会合を開催した。講演は、大手航空機運用会社から、グローバルな民間航空機部品市場への参入についての示唆に富むプレゼンテーションのほか、まんてん会員企業3社の事例紹介などがあった。参加者は約50名と盛況であった。
- 同じく12月5日に早稲田大学の航空機関連産学連携事業の第一弾として、スタートした「航空機部品国産化研究会」発足のためのセミナーが早稲田大学で開催され、主催者である早稲田大学からは、中西顧問が「航空機部品国産化研究会発足に至る経緯と新しいものづくりのパラダイム」という題で今後の方向を示し、まんてんプロジェクトから、航空機部品国産化における中小企業の役割を、大阪OWOからは、具体的な事例を、JAXAからはJAXAにおける航空宇宙部品国産化の事例をそれぞれ発表した。今回のセミナーは、早稲田大学が主催し、JAXAとまんてんプロジェクトが、協賛して開催したが、早稲田大学は、今後テーマを絞って研究会を作るなど、協賛の輪を広げていく方針である。
- 日刊工業新聞12月8日のシリーズ記事「航空機関連、狙え300兆円市場、」において、都内中小参入の動向と課題が取り上げられ、まんてんプロジェクトの活動が報道された。
- 12月12日に東京都の航空機産業委員会が開催され、今年度の委員会の最終報告が纏められた。この結果は来年度から始まる東京都の航空機産業支援策に反映されるとしている。
- 12月17日の神奈川新聞の連載記事「私の処方箋」に、異グ連専務理事・芝事務局長が「航空機産業の育成を」という題で行政レベルでの航空機関連産業支援の重要性と地域ものづくり支援について、まんてんプロジェクトの現状などを引用し提言を行っている。

第81回 日韓ビジネス協議会開催案内

高橋導徳BC

日時:2008年1月23日(水)15:00~17:00 **定例会** 17:30~19:30 新年会 だんまや水産**場所:**神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室

●韓国企業紹介・・・(株) コリアワールド/韓国関係の企画など 代表取締役 李 相佑氏

●韓国釜山の経済状況と

蔚山 SBC との「顧問契約に依る技術指導」について・・・プラスアルファ月岡事務所長 月岡 泰夫氏

●メイン講師「**ビールのお話=日韓の現状**」・・・(財) 日韓産業技術協力財団部長 北林 均氏

●その他・情報交換・・・全員

関心ある企業の参加者を歓迎致します。連絡申込:高橋迄 tel/fax 045-311-0094 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

シフト21

有村知里BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催、場所はかながわ県民センター)

1月定例会は、「**マスコミへ売り込むメディアPR術～パブリック・リレーションズ～**」というテーマで、株式会社メディア・ソリューションズ 代表取締役 鳥田 (からすだ) 淳二氏にお話をいただきました。企業がお金を払って行う広告宣伝ではなく、メディアに上手に取り上げてもらうことは企業や製品ブランドの構築や、販路開拓にも大きな影響があります。広告とPRの違い、PRとブランディングについてわかりやすくお話をいただきました。

2月定例会(2月12日(火) 18:30~20:20)では、育児用品メーカーにて商品調査・企画・開発を担当されていた西本則子氏(現職時:調査・R&D 企画マネージャー)にお話を伺います。消費財マーケティングの最前線で、消費者や現場の観察から新しい商品の種を見出し、コストベネフィットのある商品を開発されてきた現場体験です。**顧客の『声にならない不満』を感じ取り、仮説をつくり、現場を見てヒアリングを重ねて『今までに無い、これが欲しかった』という商品開発**は誰にでもできることではありません。それを幾つもこなされてきた西本氏のお話は必見です。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)

スターリングエンジン研究会報告

八幡敬和

第3回目の連携体構築連絡会議を、12月3日神奈川県中小企業センターにて開催し、次の検討を行った。

- ①全国バイオエコ燃料協議会の設立総会が、12月11日(火)に開催され、これとの連携を図っていくことを確認した。
- ②INFINIA社(米国)より、12月20日(木)に発送する連絡があり、年明けより実機試験に入ることを確認した。当初のスケジュール通りである。
- ③廃食油を燃料とするテーマに向け、顧客(ホテル、旅館、給食センター、食品工場など)の情報を集め、販売モデルを年内に確立する目標で作業をスタートすることを確認した。

海洋深層水を楽しむ会開催案内

八幡敬和

新年最初の会合が次の通り予定されています。多数の参加者を期待しています。

日時:01月19日(土)11:00~14:00 以降懇親会

場所:三浦市油壺 観潮荘

議題:「最近の海洋深層水事情」

三浦DSW(株) 芹澤社長

新年懇親会:「海洋深層水使用の料理」と「海洋深層水風呂の体験入浴」をお楽しみください。

参加費:3000円

申込:三浦地域資源ユーズ(株)千葉部長046-881-0031

料理の準備がありますので事前申込をお願いいたします。(申し込み期限1月15日頃)

関連イベントなどのおしらせ

中小企業技術革新(SBIR)制度説明会

日時:第三回 H20年2月7日(木)13:30~16:30 内容:公的資金活用企業の体験談、SBIR 制度概要等
場所:神奈川県中小企業センター 参加費:無料 問合せ:(社)日本技術士会 TEL045-210-0337 FAX045-210-0338

第29回テクニカルショウヨコハマ2008 2/13~15 パシフィコ横浜展示ホール

神奈川異グ連とC&Sグループ共催の出展者セミナーを開催します!(無料)

初日13日(水)14:00~16:50無料 セミナー会場C、懇親会は17:00~休憩コーナー 会費:2000円

セミナー内容 ①実例紹介による新連携認定の活用法 C&Sグループ(八幡敬和氏、加藤文男氏)

②航空宇宙産業への参入事例 まんてんプロジェクト参加企業

③地域交流サロンの取り組みと成果 異グ連 各地域交流サロン運営担当者

問い合わせ、申込:神奈川異グ連事務局 芝、吉池 045-633-5142

事務局のコーナー

神奈川異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】島津 龍男 村上 嘉男【水】芝 忠 杉本 明子【金】芝 忠 島津 龍男

【火】八幡 敬和 児玉 英二【木】八幡 敬和 松井 利夫【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小センタービル5階

t 045-633-5142 F045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ